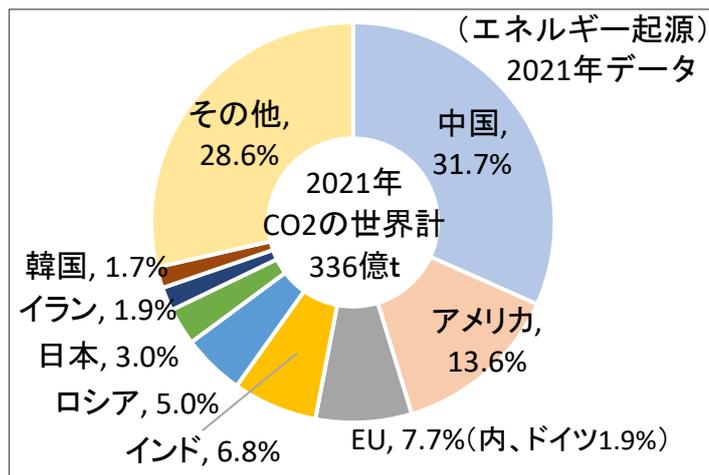


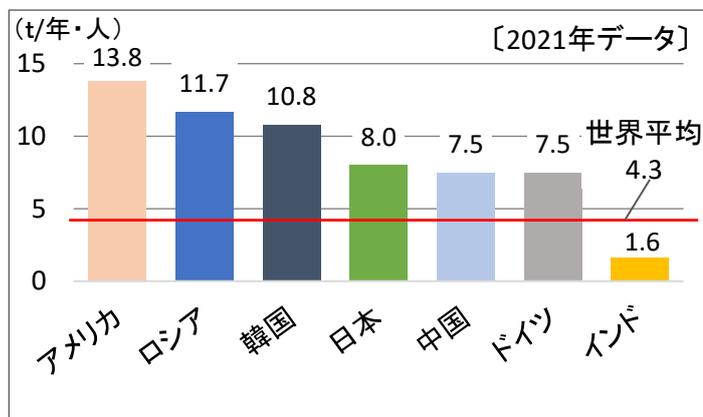
Ⅲ-1-③主要7か国のCO2排出量とその一人当たりのCO2排出量

温室効果ガスとしては、二酸化炭素、メタン、一酸化窒素、代替フロン等4ガスがありますが、その中でも最も多いものはCO2です。下図は、エネルギー起源CO2の国別排出量です。



出典:環境省HP(IEA)

主要7か国の二酸化炭素排出量



出典:環境省HP(IEA)

主要7か国等の一人当たりCO2排出量

世界の二酸化炭素排出量は、2020年度で約317億トン、2021で336億トンとコロナの影響が薄れ、増加に転じました。中国とアメリカだけで4割を超えています。

主要7か国における一人当たりのCO2排出量では、アメリカが最も多く、日本は中国、ドイツと同水準となっています。

また、日本の一人当たり年間8.0トンは、一日あたりでは21.9kgにもなるのですが、これを2050年には実質"0"にするのがカーボンニュートラル(C/N)です。

【参考】

	日本	EU	英国	米国	中国
2020				2021年1月パリ協定復帰を決定	
2030	2013年度比で46%減、さらに50%の高みに向けて挑戦(温対会議・気候サミットにて総理表明)	1990年比で少なくとも55%減(NDC)	1990年比で少なくとも68%減(NDC)	2005年比で50~52%減(NDC)	2030年までにCO2排出を減少に転換(国連演説)
2040					
2050	カーボンニュートラル(法定化)	カーボンニュートラル(長期戦略)	カーボンニュートラル(法定化)	カーボンニュートラル(大統領公約)	
2060					カーボンニュートラル(国連演説)

出典:エネルギー白書2021 第122-1-2

主要国のカーボンニュートラル